

ホッケーをしよう（手作り教材パックとスティック）

教科・場面

体育

授業・実践のねらい

- ・ 道具を使いながら身体を動かして運動をする。
- ★ 周りの環境を意識しながら道具を安全に扱う
- ★ 目と手を協応させて、目標位置までパックを操作して運ぶ

対象の児童・生徒

小学部5, 6年生

教材・教具

- ・ 木の棒や塩ビ管で作ったスティック
- ・ 段ボールで作ったパック

工夫したところ

- ・ パックを操作しやすいように真ん中にくぼみを作って色を変えている。
- ・ スティックは使いやすさを考え、太さ、長さ、柔らかさ、など児童にあったものを準備した。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

①体操

②あるく・はしる

- ・ 曲に合わせて走ったり、歩いたりする。
- ・ わかりやすいように曲調を変える。



③ホッケー

- ・ パックを動かして進む
- ・ パックを動かしてドリブル
- ・ パックをゴールに入れる

道具を操作することで目と手の協応動作の活動ができる。パックを狙ってスティックを操作しゴールまで運ぶことを課題として設定している。ゴールがあることによって見通しを持って主体的にパックを動かすことを狙っている。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・ 回数を重ねるうちにパックを意識するようになった。
- ・ 主体的にスティックをパックに向けて動かせようとする様子が見られるようになった。
- ・ 意欲的な児童はゴールに何個もパックを入れようとするようになった。
- ・ パスの課題を取り入れると、相手を意識して取り組むことができた。